

2015年 3月 No26

卒業します ! 三度目の正直 !!

理事 田中 英子

平成12年4月より、小規模作業所どんぐり工房とのお付き合いが始まりました。

一度目は、平成20年7月31日付で施設長を退任となり、感謝状を頂戴しましたが、平成21年5月施設長に復帰。二度目は、平成24年11月、現施設長に是非就任して戴きたいと思い、私が退く事を条件に理事の皆様にご承認を戴きました。しかし、少しの間施設長の補佐として、又、断念することにはなりましたがB型の開設計画があったので、少しは役に立つ事もあるだろうと、非常勤職員として在籍しておりました。

そして、平成27年3月31日をもって正真正銘退職の運びとなりました。

私にとって利用者はみんな自分の子どもと同じであり、ともに過ごした時間は何ものにも代えがたいものだと考えております。

私は、「いつか願いは叶うもの」と思っております。平成12年「どんぐり工房だより」第1号をひとりワープロで打ちながら、いつか利用者自身の手で作成出来るといいなあと。

その願い通り、今では毎月素晴らしいおたよりになりました。

平成15年1月、それまでのジプシー生活から専用の作業所としてAビルに入居しました。そして、いつかみんなと一緒に昼食を作って食べられたらいいなあ、と。

そこで、先ずみそ汁を生活訓練として作りましょう。家で余った野菜の切れ端やボランティアさんに戴いた材料でスタートしました。それからズーッと続いたみそ汁でしたが、平成26年からは、生活訓練として農園で採れた野菜を中心に昼食作りが始まり、今日では、どんぐり工房の大切なプログラムになりました。

また、Aビルが手狭となり、旭ヶ丘の教会の跡へ引っ越しが決まっておりましたが、利用者が集まり易く、市民の皆さんと交わるのも街中が良いと思い、潜かに探し続け現在のFビルに入居出来ました。

平成16年発足のどんぐりクッキー研究会のクッキーを、Fビルで製造し全国展開をしたいと大きな夢を持ちましたが、それが昨年よりジャムやパンの商品とともにさらに美味しくなって各種イベントや市役所のホールで定期的に販売し好評を得るまでになりました。

書き出してみると沢山の願いが叶いました。先に生まれたものは若い世代に引き継いでいくのが世の習い。思い残すことはありませんが、強いて言えば組織としての仕事の分担・職員の数や質の向上、利用者の増加とそれに伴う所内の整備等の環境が整って、施設長がどんぐり工房の最高責任者として存分に力を発揮できるように願っています。

どんぐり工房はⅢ型の地域活動支援センターですので、作業により工賃が増える事も良いのですが、家から通って来るメンバーさんが安心してくつろげる場所としての役割も重要と思います。

今後とも、多くの要素を兼ね備えた施設として発展して行く事を心から願っています。

平成27年度通常総会の開催について

理事会からのお知らせ

特定非営利活動法人希望の平成27年度通常総会を下記の通り開催致します。
追って文書でお知らせ致しますが、会員の皆様のご出席方お願い致します。

日時 平成27年5月23日(土) 10時～12時30分

会場 四街道市南部総合福祉センター わろうべの里 1階多目的ホール

議事 *平成26年度事業報告及び活動計算書の件

*平成27年度事業計画及び活動予算の件

*平成27年度役員選出 その他

今回の総会では会員相互の親睦を深める為に、総会終了後記念イベントとして「落語」と「バンド演奏による音楽」をお楽しみいただく催しを企画致しました。

さらに、「こんぺいとう」のコーヒーを召し上がって戴けるチケットも差し上げて、総会後のひと時をおくつろぎ戴きたいと計画しております。是非ご出席下さい。

法人希望の提案が採用されました

市の提案制度「コラボ四街道」で

優先調達推進法による障害者施設へのしごと発注の受け皿となる「しごと受注協議会(仮称)」の結成が「コラボ四街道」の審査会で採択と決定しました。

これは、市内の障がい者施設が協力して公共、民間を問わず多くの仕事を受注できるように宣伝や受注拡大に取り組んでいくという新たなシステム作りを目指します。提案団体として、積極的に取り組んで行きたいと思います

作 とも (詩集 第七作より)

ふわふわとぼして なかまをつくるの

そして 白いたねを とぼすよ

いっしょうけんめい さいているよ

ちいさくても めだたなくても

たんぼぼ



～編集子雑感～

春は別れと出会いの季節。どんぐり工房の施設長として、長年に亘って利用者にはお母さんのように、優しく時に厳しく接してくれた田中英子さんが、この3月をもって退職されます。一面にどんぐり工房に寄せる想いを綴ってもらいました

退職はしますが、これからもボランティアとして各方面で活躍されて、どんぐり工房にも時々顔を見せてくれることでしょう。田中さん長い間有難うございました。